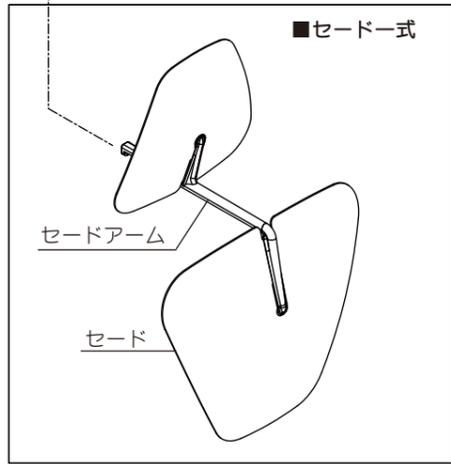
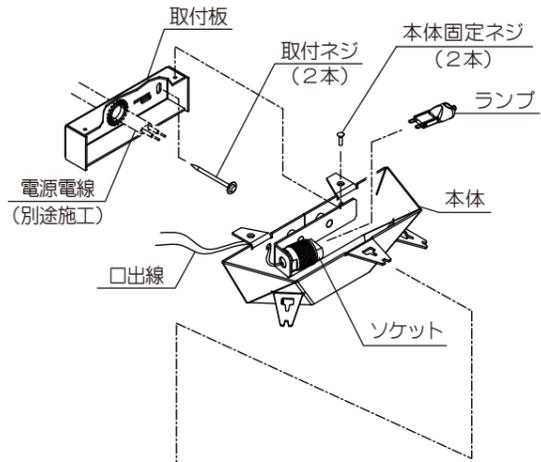


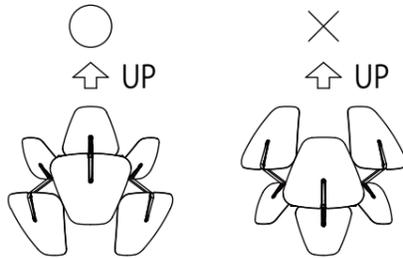
電気工事店様へ・・・工事が終わりましたら、この説明書を必ずお客様へお渡しください。

部品名称

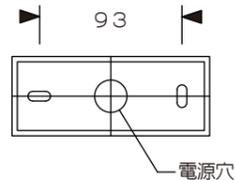
取付方法



■ 取付方向 (壁面取付正面図)



■ 取付ピッチ



定格表

カタログ番号	色	型番	使用電圧	消費電力	適合ランプ	質量
131B2698	—	V3BB-14Z8-10	100V	60W	G9 ハロゲンランプ (pin TYPE) 60W×1	2.0kg

※本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。 2206B

- この器具は壁面取付専用器具です。天井面や床面への取付はできません。傾斜した壁面には取り付けできません。
- 電源電線 (別途施工) を取付板の電源穴に合わせた位置で引き込んでおいてください。
- 取り付ける前に本体を左図のように分解しておいてください。その際、本体固定ネジ等の部品をなくさないようご注意ください。

1. 取付板を「取付方向注意シール」の通り、付属の取付ネジ (2本) で補強材のある位置に取り付けてください。



2. 電源電線 (別途施工) と口出線を結線してください。

3. 本体を取付板にセットし、本体固定ネジ (2本) で確実に固定してください。

4. ランプをソケットにセットします。器具に表示されている種類およびワット数のものをご使用ください。
※ランプセットの際はソケットを手でしっかりと固定し、まっすぐ奥まで差し込んでください。斜めに差し込んだり、無理に押し込むと、差込ピン (口金部) が変形し、破損・事故の原因になります。

5. セードをセードアームに取り付け後、セード一式を灯具にセットしてください。
●「セードの取付方法」と「セード一式の取付方法」は5・6ページ参照。

施工時のご注意

- 温度の高くなる場所や湿気が多い場所・水のかかるような場所にはご使用にならないでください。
- 取付部の強度は器具質量に十分耐えられるようにしてください。不備があると落下の原因となります。

使用上のご注意

- セードに物をかぶせたり、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。

器具のお手入れ

- お手入れの際は必ず電源を切ってください。
- セードは同梱の吸水クロス、あるいは柔らかい布に水分を含ませ、固く絞ってから表面の汚れを拭き取ってください。
- プリズムレンズの模様が刻まれた面は円を描くように模様の方に沿ってお掃除ください。



取扱説明書

お客様へ

このたびは、YAMAGIWAの照明器具をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。必ず保管してください。



目次

1ページ	: 照明器具取付 (施工) についての安全上のご注意
2ページ	: 照明器具ご使用についての安全上のご注意
3ページ	: 保守とお手入れ、アフターサービスのお問合せ
4ページ	: 部品名称、取付方法、定格表
5ページ	: セード取付方法
6ページ	: セード一式取付方法

保管用
取説No. V3B001A2

ご不明な点がございましたら
販売店にご相談ください。

照明器具取付 (施工) についての安全上のご注意

警告

!	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電源配線はランプ表面にふれないように取付けてください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付方向に指定のある器具は指定の取付方向に取り付けてください。 ◇取付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは取付ける壁の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は補強工事をしてから取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には必ず電源を切ってください。
⚠	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。 ◇器具と被照射面との距離は、指定距離より近くに取付けしないでください。
⊘	落下によるけがのおそれがあります ◇取付け部のまわりに極端な突出部のある壁に、器具を取付けしないでください。

注意

- ◇電気工事は電気工事店 (有資格者) におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。
- ◇取付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇セード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。火災の原因となります。
- ◇この器具は屋内使用器具ですが、風呂場等の湿気や水気が多い場所では使用出来ません。屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具取付けの際に壁の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇器具取付けの際に壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。メッキや塗装等の変色やさびの原因となります。
- ◇振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。不点灯、ランプ短寿命、落下の原因となることがあります。

お願い

電気工事店様へ
工事が終わりましたらこの取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告

	<p>火災のおそれがあります ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇器具と被照射面との距離は、指定距離より近くで使用しないでください。 ◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。</p> 
	<p>感電・火災のおそれがあります ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。</p> 
	<p>やけどのおそれがあります ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。</p>
	<p>感電・火災のおそれがあります ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。</p> <p>感電のおそれがあります ◇ランプの交換や器具のお手入れの際には必ず電源を切ってください。</p> 

⚠ 注意

<p>◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くとも内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。） ◇周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。 ◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。 ◇器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。 ◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の落下によるけがの原因となることがあります。 ◇セード及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。落下によるけがの原因となることがあります。 ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落がないかお調べください。</p>  
--

お願い

<ul style="list-style-type: none"> ぬれた手で器具にさわらないでください。 ハロゲンランプの表面に素手でさわらないでください。短寿命や破損の原因になります。ランプ表面の汚れはアルコールなどを浸した布でふき取り、乾かしてからご使用ください。 ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたらやわらかい布で仕上げてください。

保守とお手入れについて

- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入っているか？
 - ・ランプがソケットにきっちりセットされているか？
 - ・ランプが切れていないか？
- 器具に殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質・変色の原因になります。
- 器具がよごれた場合は水でしめらせたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。金属みがき・サンドペーパー等は器具をいためます。
- セードに衝撃を加えたり、物を乗せたりしないでください。破損や落下による事故の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際には必ず電源を切ってください。感電の危険があります。異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。
- 明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。



アフターサービスのお問合せ



商品に関するご相談及びお問合せは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へご連絡ください。部品についてのお問合せは「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

弊社ホームページのお問合せフォームより
 ご相談ください。

<https://www.yamagiwa.co.jp/contact/>

※ お電話によるお問合せは承っておりません。

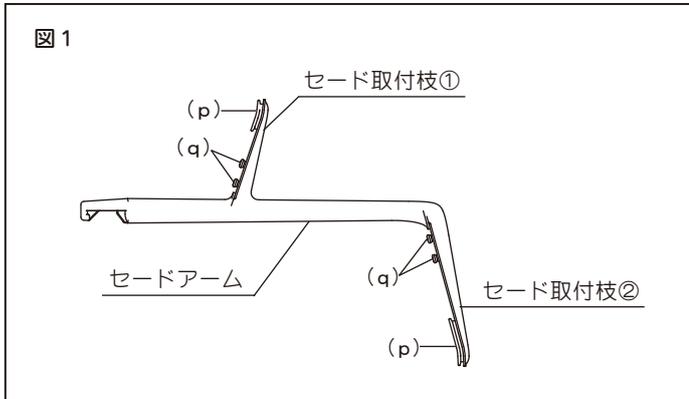


セード取付方法

注) セードは曲げすぎたり、無理に取り付けようとすると破損するおそれがありますので、取扱いには十分注意してください。

● 1-1 (図1)

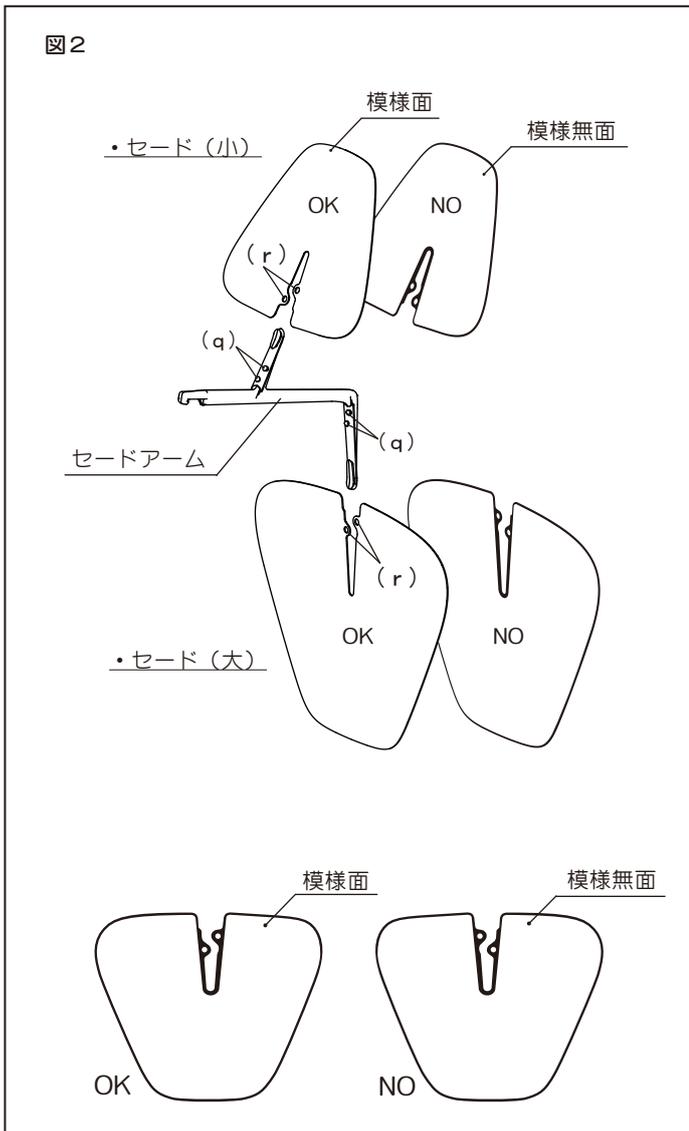
- セードアームのセード取付枝①にセード(小)、セード取付枝②にはセード(大)を各1枚取り付けます。



● 1-2 (図2)

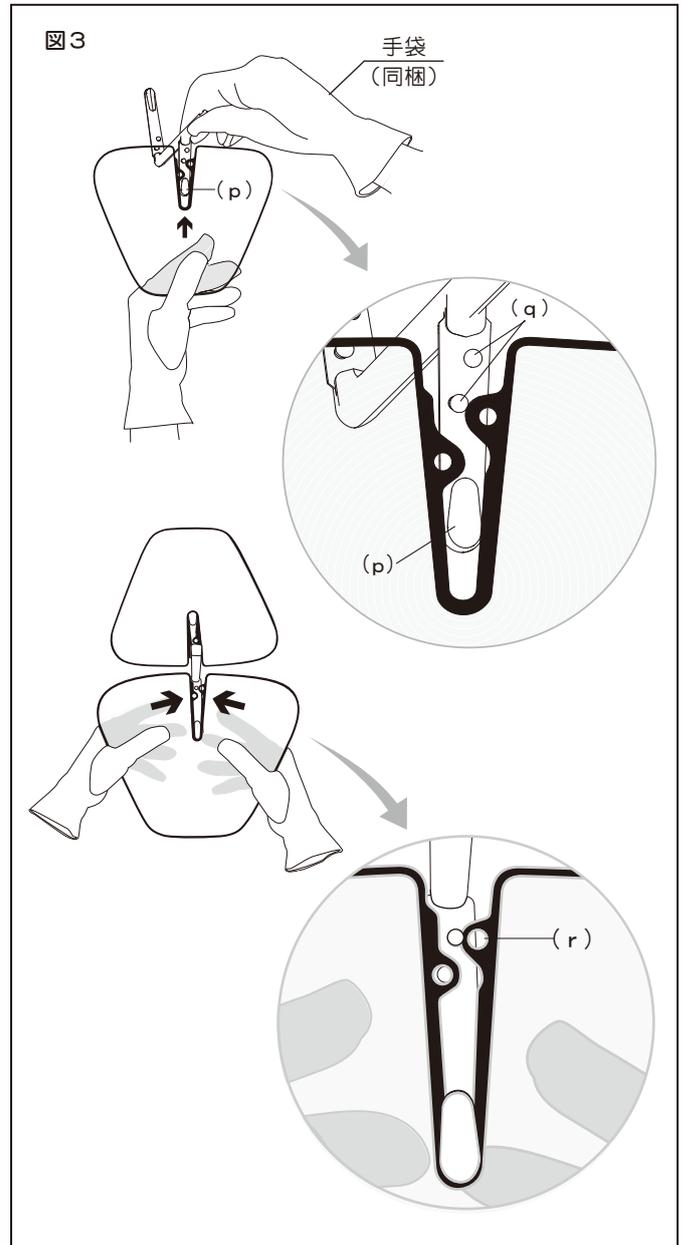
- 各セードの取付穴(r)とセードアームの取付凸部(q)の取付位置が合う方向で取り付けます。

※セード取付の際は同梱の手袋をご使用ください。

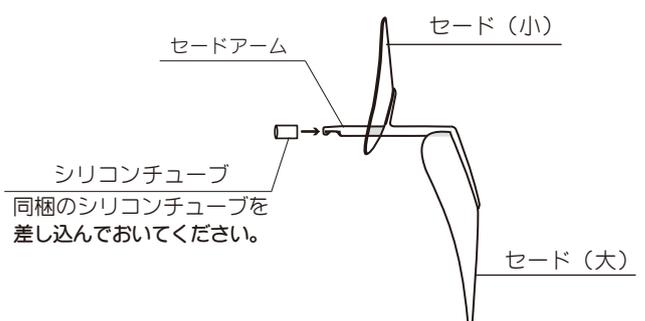


● 1-3 (図3)

- セードアーム(p)部に各セードをスライドさせながら取り付け、奥まで確実に差し込んでください。
- 次にセードの穴(r)をセードアームの取付凸(q)に図3のように片方を先にはめ込み、もう片方の穴をセードを少し曲げながら位置を合わせ、取付凸部にはめ込んでください。

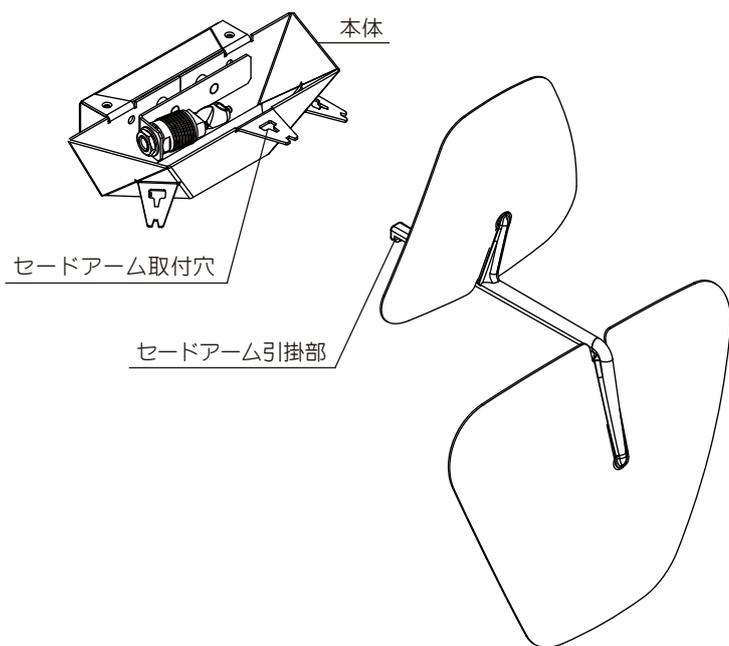


■セード一式完成図

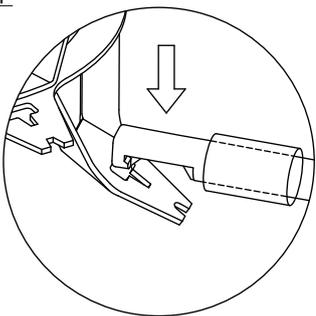


セードー式取付方法

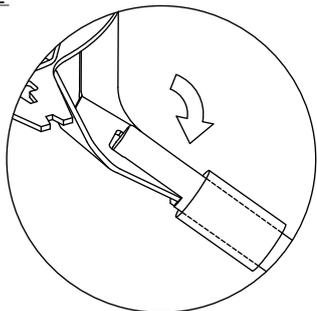
図4



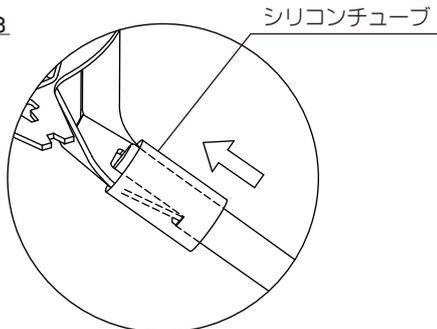
• Step1



• Step2



• Step3



● 図4

• セードー式の取付

※ セードアーム引掛部にあらかじめ同梱のシリコンチューブを被せておいてください。

① Step1

セードアーム引掛部をセードアーム取付穴に少し斜めに傾けながら差し込みます。

② Step2

セードアームをセードアーム取付穴の面に沿わせるようにたおしてください。

③ Step3

セードアームが本体に確実に引っ掛かっていることを確認してからシリコンチューブだけを矢印の方向に引き上げてください。

注) セードアームが本体に確実に引っ掛かっていないとセードー式が脱落するおそれがあります。

※ シリコンチューブをかぶせたあと、セードー式が本体から外れないことを必ず確認してください。